

平成26年度学校評価について（まとめ）

対象	実施時期	回収数	備考
職員	9月、2月	61名、62名	年2回実施
生徒	12月	914名	H R等で実施
保護者	12月	775名	事前に配布し面談時に回収
近隣中学校	12月	41校	在籍生徒の出身中学を対象

※アンケートの評価点 4. 思う 3. どちらかといえば思う 2. どちらかといえば思わない 1. 思わない

1 職員対象の調査から

具体的目標・方策に対する評価は、概ね良好な結果が出ている。各校務分掌の計画に従い、全職員協力のもとに様々な施策に取り組んできた結果と見ることができるが、今後更に取り組むべき課題としては「観点別学習指導の趣旨を生かした豊かな内容ときめ細かな学習指導および評価の研究」があげられる。

2 生徒対象の調査から

(1) 評価点平均の高い項目について

アンケート全49項目のうち41項目が平均点3.0を越え、多くの生徒が学校生活について前向きに捉えていると考えることができる。それらのうち、平均点が特に高いものは、次の3項目である。

「日々の生活指導が、体罰によらない適切な指導だと思いますか。」(3.5)

「部活動が活発であると思いますか。」(3.4)

「校歌が歌えますか（1番まで）」(3.4)

(2) 評価点平均の低い項目について

平均点が2.5を下回っていた項目は、「図書館の利用度」(1.8)、「生徒会活動への関心」(2.3)の2項目であり、「年次目標や指導方針の認知度」(2.5)、「命や人権を学ぶ機会の有無」(2.6)、「家庭学習時間の確保」(2.7)と続いている。これらの項目の評価については、今後、引き続き改善に努めていく必要がある。

(3) 年次による変化

年次ごとに詳細を分析したところ、例えば、「生徒会活動が活発であると思いますか。」の設問に対して、評点3以上をつけた生徒の割合が、1年次(49.8%)、2年次(57.7%)、3年次(71.4%)のように上昇している等、多くの項目で年次が上がるにつれて評価が高くなる傾向にある。

3 保護者対象の調査から

全21項目のうち、19項目で平均点が3.0を越え、高い評価をいただくことができた。中でも「本校に、お子さんを入学させてよかったと思いますか。」の評価点が最も高い。

評価点が3.0を下回ったのは昨年と同様に、「保護者がPTA活動に意欲的に参加できるための工夫(2.8)」、「学校(年次・担任)と家庭との連携(2.9)」の2項目であった。ホームページ更新の頻度やホットメールの利用法などを含め、何らかの改善のための工夫が必要である。

4 中学校対象の調査から

41校から回答が寄せられ、本年度も本校の教育活動について非常に高い評価をいただいた。ただし、「高校生らしい態度や服装等」、「国際交流」、「受験生に対する情報提供」の3項目については、平均点が3.5を下回る評価になった。服装指導については、今後とも継続的な指導を心がけるとともに、国際交流事業や受験生に対する情報提供については適切な情報発信に取り組みたい。

5 まとめとして

本年度のアンケートでは、生徒、保護者、近隣中学校から高い評価を得ることができたが、一方では自由記述等を通して改善を望む声も聞くことができた。今後とも現状に満足することなく、「活力ある進学校」を目標に更に新しいステージを目指して取り組んでいきたい。

※ 学校評価の詳細は本校のホームページをご覧ください。